

平成 28 年度
瑞浪市教育委員会
点検評価報告書
(平成27年度事業)

平成28年8月
瑞浪市教育委員会

目 次

I. 点検評価の概要	・・・ 1
はじめに	・・・ 1
点検評価の区分	・・・ 1
II. 教育委員会の活動状況	・・・ 2
III. 各課の事業評価	・・・ 6
教育総務課	・・・ 6
学校統合推進室	・・・ 13
学校教育課	・・・ 17
社会教育課	・・・ 31
スポーツ文化課	・・・ 43
学校給食センター	・・・ 60
IV. 教育委員会点検評価委員会のまとめ	・・・ 63

I. 点検評価の概要

はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会においては、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「瑞浪市教育委員会点検評価実施要領」の規定に基づき、瑞浪市教育委員会が平成27年度の教育委員会事務事業の点検及び評価を行い、瑞浪市教育委員会点検評価委員会の意見を付して報告するものです。

<参 考>

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検評価の区分

点検評価は、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す4区分により達成度の評価を行いました。

- A・・・順調に達成している
- B・・・おおむね順調に達成している
- C・・・達成見込みであるが課題がある
- D・・・順調でない

Ⅱ. 教育委員会の活動状況

本年度の教育委員会は、定例会 12 回と臨時会を 2 回行い、議案 48 件について審議しました。

会議では、議案の審議が厳正に行われ、その後に開催する委員会協議会では、委員からの情報提供や、事務局からの事業の進捗状況及びその他の関連事項について、活発な意見交換が行われました。

主な活動状況として、教育関係のイベント・式典や東濃西部教育委員研修協議会等に参加いたしました。視察については、研究発表校に指定された日吉小中学校を訪問するなど、学校教育の現状を教育委員の立場から確認しました。

また、中学校統合に関しては、瑞浪市南部地域中学校統合準備委員会、瑞浪市北部地域中学校統合準備委員会に参加し、その状況や委員の意向を把握し、教育委員会として提言したり、陶中学校、稲津中学校の閉校式に出席しました。

教育功労者表彰については、瑞浪市教育委員会表彰規則に基づき、教育・学術及び文化の振興発展に貢献のあった、児童・生徒 3 人、学校 2 校、一般 14 人の表彰を行いました。

さらに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が平成 27 年 4 月 1 日に施行されたことに伴い、市長と教育委員会で構成する「瑞浪市総合教育会議」を開催し、地域の教育の課題等について話し合いをしました。

なお、教育委員会で審議された案件は次ページのとおりです。

瑞浪市教育委員（H28.3.31 現在）

職 名	氏 名	任期満了日	備 考
委員長	かとう ひろゆき 加藤 博之	平成 29 年 9 月 30 日	
委 員	ごしま ひさとし 五嶋 久年	平成 30 年 9 月 30 日	委員長職務代理者
委 員	みすの まさよ 水野 昌代	平成 28 年 9 月 30 日	
委 員	やまだ ゆきお 山田 幸男	平成 31 年 9 月 30 日	
委 員	ひらばやし みちひろ 平林 道博	平成 28 年 9 月 30 日	教育長

平成 27 年度 教育委員会審議案件等一覧

回	議案番号	件 名	開催年月日
5	第25号	瑞浪市教育委員会会議規則の制定について	平成 27 年 4 月 30 日
	第26号	瑞浪市教育委員会公告式規則等の一部を改正する規則の制定について	
	第27号	瑞浪市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について	
	第28号	瑞浪市教育委員会点検評価委員の委嘱について	
	第29号	瑞浪市学校給食センター運営委員の委嘱について	
	第30号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	
	第31号	瑞浪市図書館協議会委員の任命について	
	第32号	瑞浪市陶磁資料館専門委員設置要綱の制定について	
	第33号	瑞浪市化石博物館協議会委員の任命について	
	第34号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員の任命について	
	第35号	瑞浪市櫻堂薬師調査指導委員の委嘱について	
	第36号	平成 28 年度使用教科書の採択方針について	
	第37号	平成 27 年度教科用図書東濃地区採択協議会委員及び研究員の推薦について	
6	第38号	平成 27 年度瑞浪市教育費にかかる 6 月補正予算（第 2 号）について	平成 27 年 5 月 28 日
	第39号	瑞浪市陶磁資料館専門委員の委嘱について	
7	承第 1 号	工事請負契約の締結について（報告）	平成 27 年 6 月 19 日
8	第40号	平成 28 年度使用小・中学校用教科用図書採択について	平成 27 年 7 月 16 日
9	第41号	平成 27 年度瑞浪市教育費にかかる 9 月補正予算（第 3 号）について	平成 27 年 8 月 6 日
	第42号	平成 27 年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書（平成 26 年度事業）について	

回	議案番号	件 名	開催年月日
10		議案なし	平成 27 年 9 月 17 日
11		議案なし (委員長の選挙、委員長職務代理者の指定、委員の議席順の決定)	平成 27 年 10 月 1 日 (臨 時 会)
12	第 43 号	平成 27 年度瑞浪市教育功労者の選定について	平成 27 年 10 月 15 日
13	第 44 号	平成 27 年度瑞浪市教育費にかかる 12 月補正予算(第 4 号)について	平成 27 年 11 月 16 日
	第 45 号	瑞浪市教育委員会運営規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 46 号	指定管理者の指定について	
14	第 47 号	瑞浪市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成 27 年 12 月 21 日
	第 48 号	瑞浪市加知奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 49 号	瑞浪市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 50 号	平成 27 年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について	
	第 51 号	瑞浪市幼稚園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 52 号	瑞浪市児童生徒学業支援員配置要綱の一部を改正する訓令の制定について	
1	第 1 号	瑞浪市いじめ防止基本方針について	平成 28 年 1 月 28 日
2	第 2 号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	平成 28 年 2 月 18 日
	第 3 号	平成 27 年度瑞浪市教育費にかかる 3 月補正予算(第 8 号)について	
	第 4 号	平成 28 年度瑞浪市教育費にかかる予算について	
	第 5 号	瑞浪市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 6 号	瑞浪市中央公民館の特別に開館する日について	
	第 7 号	瑞浪市民図書館の特別に開館する日及び特別に休館する日について	
	第 8 号	瑞浪市化石博物館の特別に開館する日について	

回	議案番号	件 名	開催年月日
2	第 9 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に開館する日について	平成 28 年 2 月 18 日
	第 10 号	瑞浪市陶磁資料館の特別に開館する日について	
	第 11 号	瑞浪市地球回廊の特別に開館する日について	
	第 12 号	瑞浪市民体育館の特別に開館する日について	
	第 13 号	瑞浪市日吉スポーツ施設の特別に開館する日について	
	第 14 号	工事請負契約の締結について	
3	第 15 号	人事異動の概要及び異動について	平成 28 年 3 月 7 日 (臨 時 会)
4	第 16 号	瑞浪市スポーツ推進委員の委嘱について	平成 28 年 3 月 24 日
	第 17 号	瑞浪市生涯学習推進委員会設置要綱の制定について	
	第 18 号	平成 28 年度瑞浪市の教育の方針と重点について	
	第 19 号	職員の指導処分について	

※提案された案件については、全て可決又は承認されました。

Ⅲ. 各課の事業評価

教育総務課

方 針	教育委員会の円滑な運営と学校環境等の整備・充実
重 点	○教育委員会の円滑な運営 ○安心・安全を確保するための施設等の整備 ○教育委員会事務事業の推進

1. 奨学金給付事業	評 価	A	
【事業の概要】 (目的) 進学の意欲と能力を有しながら、経済的理由により修学が困難な者に対して、修学に必要な資金を支給し、将来社会に貢献し得る有為な人材を育成すること。 (給付内容) ・瑞浪市奨学金・・・高校生を対象(月額 1 万円)に支給。 ・加知奨学金・・・大学生を対象（入学一時金 20 万円、月額 3 万円）に支給。 ※両奨学金については、奨学基金奨学生選考会議において毎年 10 名以内を選考			
【事業の実績】 (給付状況) ・瑞浪市奨学金 新規応募者 18 名の内 10 名を選考。過年度選考者分を含め、合計 17 名に支給した。 ・加知奨学金 新規応募者 28 名の内 10 名を選考。過年度選考者分を含め、合計 34 名に支給した。 (制度の周知状況) 広報みずなみの掲載回数を増やし、市内各中学校全学年にチラシを配付し、東濃管内のすべての高校・大学にチラシ、ポスターを送付し制度周知に力をいれた。			
【事業の成果と課題】 給付事業については、チラシ・ポスター・広報・ホームページを活用し、市内各中学校・東濃管内の高校・大学に周知を図ったことで、近年低下していた応募人員が増加した。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	16, 322, 000	16, 105, 420	98. 7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 小学校児童用机椅子購入事業		評 価	A
【事業の概要】 児童の机・椅子を新 JIS 規格 ((600W×400D→650W×450D))に更新する。 次年度新入学生分を対象に購入する。 (平成 24 年度から開始、平成 29 年度まで継続して実施)			
【事業の実績】 市内各小学校 7 校の次年度新 1 年生の机・椅子を購入した。 (平成 27 年度は平成 28 年度入学生分を購入) ・ 瑞浪小 122 組 ・ 土岐小 49 組 ・ 陶小 12 組 ・ 稲津小 39 組 ・ 明世小 28 組 ・ 釜戸小 19 組 ・ 日吉小 12 組 合 計 281 組			
【事業の成果と課題】 多様な教材に対応できるよう机面の寸法が広くなり、学習環境の向上が図られた。 机・椅子の両方ともスムーズに高さ調整を行うことができるため、体格の変化や学習の進め方に応じて柔軟な対応がとれるようになった。 また、児童にとって卒業するまで使用するものとなるため、自分に与えられた備品として永く管理する機会が提供できた。			
決算の状況	予算額 (円)	決算見込額 (円)	執行率 (%)
	4, 771, 000	4, 746, 504	99. 5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

3. 中学校生徒用机椅子購入事業		評 価	A
【事業の概要】 生徒の机・椅子を新 JIS 規格(600W×400D→650W×450D)に更新する。 平成 24 年度～平成 26 年度 瑞浪中学校 <u>平成 27 年度 瑞浪南中学校 全学年</u> (予定) 平成 30 年度 瑞浪北中学校 全学年 ※瑞浪南中学校、瑞浪北中学校においては、統合時に一括購入			
【事業の実績】 瑞浪南中学校の全生徒分（182 組）の机・椅子を購入した。			
【事業の成果と課題】 多様な教材に対応できるよう机面の寸法が広くなり、学習環境の向上が図られた。 机・椅子の両方ともスムーズに高さ調整を行うことができるため、体格の変化や学習の進め方に応じて柔軟な対応がとれるようになった。 また、生徒にとって卒業するまで使用するものとなるため、自分に与えられた備品を永く管理する機会が提供できた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	3,600,000	3,515,496	97.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

4. 小学校非構造部材耐震補強事業		評 価	B
【事業の概要】 瑞浪小学校屋内運動場の非構造部材耐震補強工事を実施する。 平成 26 年度：調査・実施設計 平成 27 年度：施工			
【事業の実績】 瑞浪小学校屋内運動場の非構造部材耐震補強工事については、当初の設計の見直しによる増額補正に加え、学校行事スケジュールから適正工期がとれなかったため、平成 28 年度に繰り越すこととした。 工 事 名：瑞浪小学校屋内運動場非構造部材耐震補強工事 工 期：平成 28 年 3 月 14 日～平成 28 年 11 月 30 日 請負金額：34,560 千円（3/22 前払金 13,800 千円／繰越明許費 23,200 千円） 請負業者：板垣建設（株）瑞浪支店			
【事業の成果と課題】 工期が長いため、学校及び学校開放による利用団体とのスケジュール調整を綿密に行う必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	37,000,000	13,800,000	37.3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

5. 中学校非構造部材耐震補強事業		評 価	A
【事業の概要】 瑞浪中学校柔道場・剣道場及び稲津中学校屋内運動場・武道場・多目的スペースの非構造部材耐震補強工事を実施する。 平成 26 年度：調査・実施設計 平成 27 年度：施工			
【事業の実績】 工期内に無事完了することができた。 【瑞浪中学校分】 工 事 名：瑞浪中学校柔剣道場非構造部材耐震補強・屋内運動場屋根等改修工事 工 期：平成 27 年 10 月 5 日～平成 28 年 2 月 29 日 請負金額：101,050,200 円 ※内訳 耐震補強工事分 51,067,800 円 屋内運動場屋根等改修工事分 49,982,400 円 請負業者：板垣建設(株)瑞浪支店 【稲津中学校分】 工 事 名：瑞浪南中学校校舎改修等工事 工 期：平成 27 年 5 月 13 日～平成 28 年 2 月 29 日 請負金額：172,800,000 円 ※内訳 耐震補強工事分 11,799,000 円 校舎改修等工事分 161,001,000 円 請負業者：新興建設(株)			
【事業の成果と課題】 生徒の安心安全な学校生活を送るため、教育環境の整備を図ることができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	63,765,000	62,866,800	98.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

6. 小学校暖房器具更新事業		評 価	A
【事業の概要】 児童に対し、安全で快適な教育環境を保全するため、6年間で老朽化した機器の更新を行う。(計画配備) 平成 25 年度 土岐小学校 平成 26 年度 稲津小学校 <u>平成 27 年度 明世小学校</u> 平成 28 年度 日吉小学校 平成 29 年度 釜戸小学校 平成 30 年度 瑞浪小学校 ※陶小学校は、校舎移転のため更新の計画はなし。			
【事業の実績】 明世小学校に 25 台 (FF 式ガスファンヒーター) 整備した。 ※小学校備品購入事業 備品購入費 (予算現額 11,891 千円) のうち 説明：暖房器具購入費			
【事業の成果と課題】 児童に対し、安全で快適な教育環境を整えた。			
決算の状況	予算額 (円)	決算見込額 (円)	執行率 (%)
	4,250,000	3,780,000	89.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

7. 陶中学校転用大規模改修事業（新規）		評 価	A
【事業の概要】 閉校後の陶中学校を陶小学校に転用するために大規模改修事業を実施する。 また、プール建設工事も併せて実施する。 平成 27 年度：調査・実施設計 平成 29 年度：施工			
【事業の実績】 工期内に設計書を作成することができた。 委 託 名：陶中学校転用大規模改修等設計業務 委託期間：平成 27 年 4 月 16 日～平成 28 年 3 月 18 日 請負金額：6,697,080 円 請負業者：(株)デザインボックス			
【事業の成果と課題】 児童の安全・安心な学校生活を送るための教育環境の整備を図る工事の実施設計ができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	6,735,000	6,697,080	99.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

【評価委員からの意見と対応】
特になし

学校統合推進室

方 針	健全な教育環境の整備
重 点	○中学校の統合再編の推進

主な事業の実績と評価

1. 学校統合推進事業		評 価	A
【事業の概要】 統合準備委員会（北部・南部）を開催し、校歌作成など統合にかかる諸課題の協議・決定を行い、進捗状況を統合準備委員会ニュースやHPなどで住民へ情報提供を行う。 また、統合となる中学校間の生徒間交流を行う。 ≪開校目標年度≫ 瑞浪南中学校 平成 28 年度 瑞浪北中学校 平成 31 年度			
【事業の実績】 ○校歌作曲業務（繰越）を完了した。（150 千円/林光興氏） ○統合準備委員会及び専門部会を開催し課題の協議を行った。 【北部地域】委員会 2 回 専門部会 12 回 【南部地域】委員会 2 回 専門部会 3 回 ○委員会での協議・決定内容について、統合準備委員会ニュース（北部 2 回・南部 1 回）を発行し対象地区へ配布した。また、ホームページ、公民館だよりや学校通信などに掲載をした。 ○稲津中学校と陶中学校の生徒間交流（5 回）を実施し、生徒の不安・負担解消に努めた。			
【事業の成果と課題】 南部地域統合準備委員会では、開校に向けた準備に不備のないよう最終確認を行うことができた。北部地域統合準備委員会では、部会の開催を増やし課題協議に取り組んでいるが、開校に向け遅延のないよう前倒しで協議を進めていく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	675, 000	399, 096	59. 2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 中学校開校準備事業（新規）		評 価	A
【事業の概要】 平成 28 年 4 月に開校する瑞浪南中学校の消耗品・備品などの整備と閉・開校式関連事業を実施する。			
【事業の実績】 ○統合校に必要な消耗品・備品などの整備を行った。 ○陶・稲津中学校の閉校式を実施した。また、開校式の準備を行った。 ○地域住民が実施する閉校記念事業に対し交付金補助を行った。 <閉校式> 稲津中学校 3 月 19 日（土） 参加者：約 300 人 陶中学校 3 月 20 日（日） 参加者：約 400 人 ※式典構成 第 1 部 市・教育委員会 共催 第 2 部 地元実行委員会 主催			
【事業の成果と課題】 統合校に必要な消耗品及び備品等の整備を行い、開校に向けた準備を完了させた。 陶・稲津中学校の閉校式を、地元実行委員会の協力を得て盛大に開催することができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	15,756,000	12,943,874	82.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

3. 瑞浪南中学校部活動備品整備事業（新規）		評 価	A
【事業の概要】 平成 28 年 4 月開校予定の瑞浪南中学校の部活動にかかる消耗品・備品等の整備を行う。			
【事業の実績】 テニス部設置に伴うテニスネット等の消耗品及びスチールローラーなどの備品の整備を行った。			
【事業の成果と課題】 部活動用消耗品及び備品等の整備を無事完了することができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	808,000	644,792	79.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

4. 瑞浪南中学校施設整備事業		評 価	A
【事業の概要】 平成 28 年 4 月開校予定の瑞浪南中学校のテニスコート・バスターミナル造成工事及び校舎改修等工事を行う。			
【事業の実績】 (主な工事内容) ・テニスコート造成工事（繰越）を実施した。 工 事 名：(仮称)瑞浪南中学校テニスコート造成工事 工 期：平成 27 年 2 月 9 日～平成 27 年 6 月 30 日 請負金額：14,422,320 円（H26 年度 5,610,000 円、<u>H27 年度 8,812,320 円</u>） 請負業者：セントラル建設（株）東濃西部営業所 ・バスターミナルの造成工事を実施した。 工 事 名：瑞浪南中学校バスターミナル造成工事 工 期：平成 27 年 8 月 31 日～平成 28 年 2 月 29 日 請負金額：40,316,000 円 請負業者：(株)西尾建設 ・校舎改修等工事を実施した。 工 事 名：瑞浪南中学校校舎改修等工事 工 期：平成 27 年 5 月 13 日～平成 28 年 2 月 29 日 請負金額：172,800,000 円 ※内訳 耐震補強工事分 11,799,000 円 校舎改修等工事分 <u>161,001,000 円</u> 請負業者：新興建設(株)			
【事業の成果と課題】 前年度より繰越したテニスコート造成工事、バスターミナル造成工事及び校舎改修等工事を実施し、開校に向けた施設整備を完了させた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	224,059,000	223,442,920	99.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

5.（仮称）瑞浪北中学校施設整備事業		評 価	B
【事業の概要】 平成 31 年 4 月開校予定の（仮称）瑞浪北中学校用地の買収と、校舎・屋体建築設計及び土地造成実施設計を行う。			
【事業の実績】 ○土地造成実施設計業務（繰越事業）を完了した。 委 託 名：（仮称）瑞浪北中学校土地造成実施設計業務 期 間：平成 26 年 9 月 25 日～平成 28 年 3 月 31 日 請負金額：14,040,000 円 請負業者：（株）テイコク ○学校用地の取得を完了した。（23 件/45 筆/15,747.64 ㎡） ○土地造成工事契約を締結した。 工 事 名：（仮称）瑞浪北中学校土地造成工事 工 期：平成 28 年 3 月 4 日～平成 29 年 9 月 30 日 請負金額：473,040,000 円 請負業者：市川・今井特定建設工事共同企業体 ○校舎・屋体建築については、基本設計に着手。 委 託 名：（仮称）瑞浪北中学校校舎・屋内運動場建築基本設計・実施設計業務 期 間：平成 27 年 4 月 16 日～平成 29 年 2 月 28 日 請負金額：157,879,800 円 （当初：146,880,000 円、補正：10,999,800 円） 請負業者：（株）日建設計 名古屋オフィス ※ 繰越額（H28）： 74,064 千円			
【事業の成果と課題】 前年度より繰越した土地造成実施設計業務が完了し、土地造成工事の契約を締結した。 校舎・屋体建築については、昨年度策定した「ゼロエネルギー化基本計画書」に基に基本設計業務に着手したが、年度末に行った地質調査の結果が年度をまたぐこととなったため、翌年度への繰越事業となった。 開校年度に遅延のないよう関係部署と調整して事業を進めていく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	390,326,000	315,673,629	80.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

【評価委員からの意見と対応】
特になし

学校教育課

方 針	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
重 点	○確かな学力の育成 ○幼稚園・学校の職員の資質向上 ○子どもがつながる生徒指導の推進 ○一人一人の特性に応じた支援の充実 ○幼保一体化による就学前教育の充実 ○中学校の統合準備

主な事業の実績と評価

1. A L T活動関係経費		評 価	A
【事業の概要】 ・外国人英語指導助手（JET プログラム 1 名・業者委託 2 名）が幼小中を訪問し、英語教育、外国語活動、英語活動、国際理解教育を進める。			
【事業の実績】 ・幼小中への計画的な訪問指導を実施することができた。また、小学校 5・6 年生には、「小学校外国語活動」の時間すべてに訪問することができた。 ・小学校外国語活動用教材「Hi, friends 1、2」を活用した授業を行うことができた。 ・のべ訪問日数 577 日。研究所勤務を含めると 623 日。			
【事業の成果と課題】 ・幼稚園では A L T の派遣により国際理解教育を進めることができた。 ・小学校 5・6 年生には、「外国語活動」の時間すべてに A L T が訪問し、より効果的な活動ができ、子どもたちは外国語に親しみ、コミュニケーション活動を充実させることができた。また、小学校低・中学年では「ゆとりの時間」や「総合的な学習の時間」に計画的に A L T が訪問し、国際理解を深めることができた。 ・中学校に A L T が入ることにより、外国人による英語指導が充実している。 ・カードの使用やゲームを活用して学習する等、明るい雰囲気 of 英語指導を通して英語や外国人に対する抵抗感が解消できている。また、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする児童生徒の姿が見られる。 ・平成 28 年度より、業者との契約方法などを見直し、プロポーザルにより派遣業者を選定し、より質の高い A L T による指導が行えるようにする。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	14,865,000	14,075,594	94.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 教育研修経費		評 価	A
【事業の概要】 ・教職員の資質向上のための研修会を実施する。 ・小中学校の授業研究会に外部専門講師を招聘する。			
【事業の実績】 ・夏季研修会については、4 日間のべ 338 名が受講。（職員数 231 名） （防災、I C T活用、特別支援教育、外国語活動、幼児教育、作陶体験、瑞浪市歴史探訪、実践論文、学級経営等 合計 16 講座を実施した） ・小中学校の校内研究会に外部講師を招聘し、活動や授業の充実に努めた。			
【事業の成果と課題】 ・特別支援教育のニーズが高いため、特別支援教育の講座を 2 講座行うことができた。 ・他市から赴任している教師に対して、作陶や瑞浪市の歴史探訪講座を受講してもらい、瑞浪市のよさを他地域に広めることに貢献した。 ・予算編成時に学校に対し講師要望調査を行い予算要求しているが、学校では新年度まで実際の研修計画が決定しないため、要望と乖離する例があり課題となっていた。新年度に予算に合わせた講師要望調整を再度行うことで、学校の要望に応じた講師派遣を行うことができた。 ・今後さらに必要とされる「I C T活用」「外国語活動」の講座については引き続き開催していく。 ・多方面にわたる教職員の資質向上が求められており、さらに多様な研修の必要性を感じる。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	521,000	427,770	82.1

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

3. 小学校課題指定校経費		評 価	A
【事業の概要】 ・ 3 年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援する。 ・ 指定校は課題を策定・研究し 3 年目に研究発表会を実施する。 ・ 指定 1、2 年目は予算措置なし。			
【事業の実績】 ・ 11 月 19 日 日吉小学校研究発表会（日吉中学校と合同開催） 研究主題 「確かな表現を追い求める子～国語科の「書く活動」を通して～」 ・ 7 学級授業公開 ・ 市内外教職員等参加者 約 200 人 ・ 学校の研究テーマで願う児童の姿を具現することができた。			
【事業の成果と課題】 ・ 日吉小学校で研究発表会を実施し、教職員の力量を高めた。 ・ 子どもの確かな実態把握をもとにした指導の手立てを追究し、書く活動に児童が生き生きと学ぶ姿があり、他校の教職員が参考にできる発表となった。 ・ 発表校の教職員の力量向上とともに児童の学習する力の向上につながり、継続していくことが重要である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	413, 000	357, 793	86. 7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

4. 中学校課題指定校経費		評 価	A
【事業の概要】 ・3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援する。 ・指定校は課題を策定・研究し3年目に研究発表会を実施する。 ・指定1、2年目は予算措置なし。			
【事業の実績】 ・11月19日 日吉中学校研究発表会（日吉小学校と合同開催） 研究主題 「自ら課題をもち、追究する生徒～言語活動の充実を通して～」 ・3教科3学級授業公開 ・市内外教職員等参加者 約200人 ・学校の研究テーマで願う生徒の姿を具現することができた。			
【事業の成果と課題】 ・日吉中学校で研究発表会を実施し、教職員の力量を高めた。 ・子ども一人一人をより確かに実態把握し、言語活動の充実が図られるよう指導の工夫改善を進めた。生徒が生き生きと学ぶ姿があり、他校の教職員が参考にできる発表となった。 ・発表校の教職員の力量向上とともに生徒の学習意欲の向上につながり、継続していくことが重要である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	412,000	330,776	80.3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

5. 教育支援センター運営経費		評 価	A
【事業の概要】 ・不登校児童生徒の学校復帰を目指して指導員 2 名（嘱託職員）により適応指導を行う。 ・平成 27 年度 12 月現在、不登校による 30 日以上欠席した児童生徒が 42 名いた。（平成 26 年度は 46 名） ・平成 27 年度は、適応指導教室室長による学校訪問や保護者面談をしながら、適応指導教室への通級を勧める活動を行う。通級する児童生徒に対しては、指導員が個別指導を行い、対人関係を学んだり学習の遅れを取り戻したりしながら、学校復帰を目指す。			
【事業の実績】 ・適応指導教室へ通う児童生徒（小学生 2 人、中学生 3 人）や適応指導教室へ入室体験を行う児童生徒（小学生 1 人、中学生 2 人）への学校復帰を目指す指導ができた。 ・平成 27 年度は中学生に大きな進歩が見られた。外部との接触を断っていた中 3 の女子が徐々に来室でき、人との関わりがもてるようになった。中 3 男子は進路実現に向けて学習に意欲的に取り組んだ。中 2 の男子は、家庭でほとんど話さなかったが、少しずつ言葉を発したり、笑顔を見せたりするようになった。 ・教育相談活動については、平成 28 年 3 月末で総数 165 件の相談を行った。			
【事業の成果と課題】 ・適応指導教室に通う児童生徒の学校復帰を目指す指導ができた。 ・運営委員会の開催、通信の発行、各小中学校訪問を通して、学校との連携を図り、情報の共有化及び各ケースの実情に応じた支援を行った。 ・教育相談活動を通して、小中学校の児童生徒及び保護者と信頼関係を築くことにより、個々に応じた支援をすることができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	7,839,000	7,537,556	96.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

6. 児童生徒学業支援員派遣事業		評 価	A
【事業の概要】 ・小中学校において、学級担任の補助として、支援の必要な児童生徒（発達障がい、学習障がい等のある児童生徒）へ個別支援を行う人員を配置する。			
【事業の実績】 ・年度当初 25 名を派遣（小学校 7 校：15 名、中学校：8 名、図書：2 名）			
【事業の成果と課題】 ・支援員の存在が子どもたちの安定した生活姿勢、学習に対する意欲の喚起、積極的な読書活動につながっている。 ・配置した支援員に対する研修を行うことで、支援員の支援の仕方が向上しているという評価を学校からいただいている。 ・支援の必要な児童生徒は増加しており、支援員の増員が必要になっている。 ・児童生徒と支援員がお互いに気心が分かり、慣れてきたところで、支援員の任期が切れてしまうケースがある。今後、支援員の任期を再考する必要がある。 ・平成 28 年度は、児童生徒の個別支援に加え、学校図書館の整備及び児童生徒への読書指導等の学校教育活動支援も継続して行う予定である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	27,125,000	24,362,400	89.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

7. キャリア教育推進事業		評 価	A
【事業の概要】 ・ 中学 2 年生の職場体験事業を実施する。その際の賠償保険料を支払う。 ・ 推進協議会を実施する。			
【事業の実績】 ・ 市内中学校 6 校の 2 年生全員（335 名）がのべ 150 事業所で職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができた。 ・ 職場体験学習が円滑に実施できるようキャリア教育推進協議会を実施し、関係団体の会長等との懇談を充実させることができた。			
【事業の成果と課題】 ・ 市内中学 2 年生全員が事故なく職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができた。 ・ クリエイションパークへ職場体験学習に対する協力を呼びかけ、実際に協力していただく事業所があった。 ・ 生徒の希望に応じられるよう協力していただいた事業所が多く、温かい支援により生徒の満足感も大きかった。 ・ 推進協議会については、地域ぐるみのキャリア教育を推進していくため引き続き実施していく必要がある。 ・ 学校と事業所との打ち合わせをより綿密にする必要がある。 ・ 体験活動だけでなく、キャリア教育の目的をより明確にした指導が大切である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	160, 000	152, 300	95. 2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

8. 小学校教科書改訂事業		評 価	A
【事業の概要】 ・ 小学校教科書改訂に伴う、教師用教科書・指導書、指導用教材等を購入する。			
【事業の実績】 ・ 平成 27 年度より使用する小学校教科書改訂に伴い、後期分の教師用教科書、指導書、教材を購入した。			
【事業の成果と課題】 ・ 平成 27 年度の教科書改訂に対応するため、後期分の教師用教科書、指導書、教材を滞りなく手配することができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,866,000	1,383,523	74.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

9. 中学校教科書改訂事業（新規）		評 価	A
【事業の概要】 ・ 中学校教科書改訂に伴う、教師用教科書・指導書、指導用教材等を購入する。			
【事業の実績】 ・ 平成 28 年度より使用する中学校教科書改訂に伴い、教師用の教科書、指導書、教材を購入した。			
【事業の成果と課題】 ・ 教科書改訂に伴い、平成 28 年度 4 月当初から滞りなく使用できるように、教師用教科書、指導書、教材を手配することができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	8,007,000	7,824,184	97.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

10. 幼稚園課題指定園経費		評 価	A
【事業の概要】 ・2年サイクルで研究園を指定し、教育活動を支援する。 ・指定園は課題を策定・研究し2年目に研究発表会を実施する。 ・平成27、28年度は「稲津幼稚園」を指定する。平成27年度は指定1年目にあたる。 ・1年目は予算措置なし。平成28年度は2年目にあたり予算措置あり。			
【事業の実績】 ・教育長訪問、園内研修会等（6回）で研究推進全般や教職員の指導力の向上に向けての指導、助言を行った。（9回）			
【事業の成果と課題】 ・研究会等での指導、助言により、教職員の指導力の向上と確かな教育推進につなげることができた。 ・指定園発表会に向けての見通しをもつことができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	0	0	0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

11. 教育みずなみ発行経費		評 価	A
【事業の概要】			
・教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）の発行 ・分析授業の「授業記録」の発行			
【事業の実績】			
・教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）の発行（No.62－1～12） ・年度末のアンケートからは、分析授業や学力向上等の「教育みずなみ」の掲載記事が「参考になった」という教職員は91%と、よい反応があった。 ・分析授業の「授業記録」を発行し、分析授業の詳細な授業記録を残すことができた。			
【事業の成果と課題】			
・教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）について、年度末のアンケートから、教職員の評価は良好であった。 ・幼小中の具体的な取り組みを紹介できた。 ・年々変わる教育課題に対応できるよう、掲載内容を一部変更し、教員の資質向上の一助とする。本年度は、学校教育の外部の方（商工会議所会頭、青年会議所）から寄稿いただき参考になった。 ・研究所主催の分析授業を市内教員に知らせるため、授業記録を発行した。詳細な授業記録をもとに、授業の分析が円滑に進んだ。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	727, 000	624, 642	86. 0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

12. 教育研究所運営経費		評 価	A
【事業の概要】 ・各学校の代表である嘱託所員、学校所員とともに所員会、分析授業等を通して授業研究を行う。 ・各教職員の研究成果をまとめた論文を審査・表彰し「教育実践研究論文集」に集録する等、教員の研究活動を奨励・援助し教育レベルの向上を図る。			
【事業の実績】 ・教育実践論文を募集、審査、表彰し入賞作品を「教育実践研究論文集」に集録した。72人の応募があった。 ・分析授業を冊子「授業記録」にまとめ、嘱託所員、学校所員とともに1年をかけて詳細に分析した。			
【事業の成果と課題】 ・実践論文の応募が、合計72点あった。応募率は30%にのぼり、他市町村と比較してもとても高い応募率である。教職員の資質向上に大変役立っている。 ・優秀論文を「教育実践研究論文集」にまとめ、市内教員に配布することで効果的な教育実践のあり方を広めている。 ・「教育実践論文集」の作成について、教育研究所の職員で印刷し、製本するなどの経費削減の努力を行った。しかし、時間がかかり、他の業務に支障があるなどの課題が残った。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	526,000	279,026	53.1

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

【評価委員からの意見と対応】

○平成 28 年度から取り入れる派遣契約により良くなる点は何か？

→業者との契約方法を「委託契約」から「派遣契約」に変更することにより、教師が A L T 自身と直接打ち合わせをすることができるようになる。そのため、急な授業の変更や細かな打ち合わせが可能となる予定。

社会教育課

方針①	ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
重 点	○多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実 ○地域での子育てに係る学習環境の整備 ○高齢者の活躍の場づくり ○公民館・図書館等による人材発掘と育成

方針②	郷土愛を育む文化・芸術の振興
重 点	○市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 ○後継者育成、文化芸術活動団体の支援

方針③	子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化
重 点	○連携による家庭の教育力の向上 ○連携による地域の教育力の向上

主な事業の実績と評価

1. 瑞浪市主張大会開催事業		評 価	B
【事業の概要】 少年の主張岐阜県大会瑞浪市予選会を兼ね、青少年育成事業のみでなく市民の生涯学習啓発事業としても開催する。 市内の各小・中・高等学校の代表（各校1名）、及び一般応募者が、開催要項に定められた課題に沿って発表し、審査により賞を授ける。			
【事業の実績】 6月21日（日）に総合文化センター文化ホールにおいて開催した。市青少年育成推進員、青少年育成市民会議地域活動部会員、及び各高等学校の生徒が協力して事業の運営主体となって開催し、約500人の入場者があった。 発表された主張については、発表を録音したCD、青少年育成市民会議事業として記録冊子を作成して配布した。			
【事業の成果と課題】 平成22年度から青少年育成市民会議の協力事業という位置付けで開催しており、平成27年度においても市青少年育成推進員及び市民会議地域活動部会員と協力して開催できた。とりわけ高校生が司会進行を担当して明快かつスムーズな進行が行われた。また、瑞浪高等学校書道部が作成した手書きの主張大会の横断幕を掲げることができたことで、内容ある青少年育成事業として好評を得ることができた。 課題としては、学校代表による発表であり、発表者の家族・友人等の応援による来場が中心であって、地域の方々や一般市民の来場が少ないことがある。発表者が地域の代表でもあるという意識を持ってもらえる方策、各地域からの応援といった形で来場してもらえるよう事前にアピールしたにもかかわらず、あまり成果を得ていない。今後は、開催するアトラクションを、児童生徒による活動の発表や地域で活躍している団体等の発表につなげ、参加者拡大対策を図りたい。 また、青少年育成市民会議の事業として開催できるように体制づくりを進める必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	255,000	236,360	92.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

2. 生涯学習推進事業		評 価	A
【事業の概要】 生涯学習推進委員会、市民部会及び行政部会を開催し、生涯学習推進施策の調査、研究、検討などを行う。また、市民への生涯学習啓発を目的としたガイドブックの作成を行う。さらに、瑞浪市の自然、歴史、文化、産業等に関する様々なテーマにより「生涯学習講座」を市民部会と協力して開催する。			
【事業の実績】 ・生涯学習推進委員会を2回、市民部会全体会を4回開催し、市民部会については、シルバーグレイの終活、コミュニティバスで行くふるさと再発見、瑞浪学習の3グループで学習活動を行った。部会全体では各グループの学習の交流を行い、成果と課題を確認し、生涯学習推進委員会へ報告する準備を行った。行政部会については、庁内各課が実施する啓発的な学習（出前講座）の周知に向けて各担当での改善に取り組んだ。 ・市民部会が主体となり、8月22日（土）に「ヒトの見方」をテーマに、養老孟司氏を講師に招いて生涯学習講演会を開催した。（来場者800人） ・岐阜県と共催で、短期型人材養成事業「学びによる地域づくり活動デビュー講座」を実施した。（17人参加） ・各公民館及び民間等に記事を依頼し、市内で開催される講座等の情報を取りまとめた「生涯学習ガイドブック」を昨年度に引き続き作成した。市広報4月15日号と同時に全戸配布した。			
【事業の成果と課題】 ・生涯学習推進委員会市民部会について、グループごとに自主的な学習活動ができた。 ・生涯学習講演会については、満席に加え、パブリックビューイングも用意しての開催となり、大好評であった。今後は、小規模で身近な学習を積み重ねることにより、自分づくりが地域づくりへとつながっていくような学習機会を提供できるよう検討する。 ・「生涯学習ガイドブック」の作成により市内における講座等の情報を一覧の形で市民に周知することができた。今後は、ホームページやメールマガジンも活用し、迅速でタイムリーな情報発信を図っていく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,571,000	1,367,287	87.1

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

3. 青少年育成推進事業		評 価	A
【事業の概要】 青少年育成市民会議事業を中心として青少年健全育成活動を推進する。市民会議への交付金（モデル地区・団体への活動交付金を含む）、青少年育成推進員の報酬、及び市子ども会連合会事業と青年の船研修に対する補助金が主要経費。			
【事業の実績】 ・青少年育成推進委員会（構成 10 名）を年 7 回開催した。 ・平成 27 年度は、青少年育成市民会議を年 2 回開催。フレッシュトーク I N 瑞浪では、高校生との意見交換会を設け、高校生と大人が相互に思いを交流した。大人は高校生の実態を知り、高校生は大人の思いに触れることができた。特に 27 年度は、意見交換会の司会を高校生が担い、高校生が主体となって進めていくことができた。青少年育成に関わる大人と顔見知りになることで、気軽に挨拶をしたり、スムーズな声掛け指導につながったりすると考えられる。 ・PTA と連携しケータイ・インターネット問題に対して、瑞浪市としての活動を推進した。 ・モデル地区（釜戸地区）とモデル団体 3 団体の活動発表、及び優良青少年団体等の顕彰を実施した。 ・市民会議の 4 部会の活動として、市主張大会の運営協力や夏季特別街頭巡回指導、環境整備活動、また、講演会開催等の事業を実施した。平成 27 年度の新たな取組として、中学生に呼び掛け、瑞浪駅前ガムをはがし「無ガム中」を行った。市外からの訪問者を迎える環境整備作業を行った。			
【事業の成果と課題】 ・青少年育成市民会議の事業については、PTA と連携し、ケータイ・インターネット問題への家庭のルール作りを推進することを大きな柱とした。また、4 つの部会（家庭教育、地域活動、環境改善、広報）が、特色のある取組を行った。学校を通し広く PTA にも呼びかけた家庭教育の講演会、高校生による司会進行や看板作製などアイデアを生かした主張大会の運営、町民会議・高校生と連携し地下道の落書き消し、中学生と一緒に実施したガムをはがしなどの環境整備、市内全戸配布した広報「笑顔あふれるみずなみ」の年 2 回発行など、充実した活動を行うことができた。また、「高校生と語る会」では、市内 3 高校から 27 名の高校生を招き、高校生が主体となり、瑞浪市の在り方や、未来に向けて活発な意見交換を行なうことができ、青少年育成事業として着実な取組ができた。 ・青少年育成市民会議事業の課題としては、充て職の部会員が多く継続性を確保しにくいこと、また、中心となって活動いただいている市青少年育成推進員にあっては活動回数が多く負担も大きい点がある。事業内容の見直しや充て職の推薦依頼先等の検討など、継続して活動できる体制づくりを進める必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2, 308, 000	2, 160, 959	93. 7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

4. 成人式開催経費		評 価	A
【事業の概要】 瑞浪市の成人式は、長年引き継がれてきた「成人の火の伝達」等の伝統を継承しながら、成人の自覚と将来への激励を目的とし、新成人実行委員会を中心に地域の方々の協力による手づくりの成人式を開催する。			
【事業の実績】 市内全中学校の卒業生の新成人対象者で構成する成人式実行委員会を9月から18回開催し、実行委員が自ら企画・運営・進行する手作りの成人式を開催した。平成27年度のテーマ「Re : START」に沿って、厳粛な式典部分は継承しつつ、新たに20歳として再スタートを切り、大人としての自覚、家族や仲間、恩師、地域の人々への感謝の気持ちを伝える構成とした。平成27年度の成人式では、会場が一体となった実行委員によるパフォーマンスや、家族への感謝の手紙を読む場でのサプライズ演出も盛り込み、一体感と感動を柱に、実行委員がやって良かった、新成人が来て良かった、来賓や保護者が瑞浪市の若者は素晴らしいと感じる、意義のある式典となった。 ○成人対象者：473名、内出席者387名、出席率：81.8% ○昨年度、新成人研究会による第15回成人式大賞2015で成人式大賞を受賞(全国1位) ○同会による第16回成人式大賞2016では、成人式貢献賞を受賞			
【事業の成果と課題】 毎年、新成人実行委員の企画・運営による、郷土としての地域や瑞浪市との関わりを視野に入れた手づくりの成人式を開催し、市内外からも高い評価を得ている。成人式大賞では10年連続して準大賞、優秀賞等を受賞し、昨年全国1位という成人式大賞、27年度は貢献賞を受賞した。式の記念品も昨年に引き続き、郷土の良さを再発見できるよう「みずなみ焼」とした。 今後とも、新成人とふるさと瑞浪市との関わり、育った地域との関わりを視野に入れ、新しい企画も取り入れ開催して行く。人口減少に伴い、成人式実行委員の選出が困難になっていることから、前年度の実行委員から次年度の実行委員を推薦してもらえるような体制作りも検討していく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2,029,000	1,774,735	87.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

5. 中央公民館講座等開催経費		評 価	B
【事業の概要】 市民のライフスタイルや生活技術の向上、多様な学習意欲の向上に適した講座・教室等を開催する。また、高齢者学級としての寿大学の運営や、家庭教育の充実を目的とする母親学級等を開催する。			
【事業の実績】 ○定期講座・体験教室等で次の 12 事業を実施した。全講座参加人数 163 人。 【(参加人数) : [定員数]】 ・ベビーマッサージ教室 5 月～7 月 全 5 回 【(10 人) [10 組]】 ・うつわ作り体験教室 5 月 9 日 【(21 人) [20 人]】 ・茶席体験教室 5 月 9 日 【(8 人) [15 人]】 ・こども和太鼓教室 5 月～7 月 全 10 回 【(15 人) [15 人]】 ・ハンギングバスケット教室 5 月 30 日 【(10 人) [20 人]】 ・こども和太鼓教室発表会 8 月 4 日 (13 人) ・つるし雛づくり教室 8 月～10 月 全 6 回 【(7 人) [10 人]】 ・ステージ探検ツアー 8 月 20 日 【(10 人) [20 人]】 ・「カメラがくれる、一瞬の贈り物」写真講座 9 月～10 月 全 6 回 【(16 人) [20 人]】 ・「なりたい自分へ、まず字から」美文字教室 9 月～10 月 全 4 回 【(14 人) [20 人]】 ・心で繋がる親子ヨガ教室 11 月～12 月 全 5 回 【(9 人) [20 組]】 ・剪定教室～冬の庭木編～ 12 月 13 日 【(25 人) [20 人]】 ・冬でも安心！初めての寄せ植え教室 12 月 19 日 【(5 人) [20 人]】 ○高齢者学級として中部寿大学（学生 198 人）の運営 毎月学習会等開催、文集発行 ○登録自主グループ 32 団体、延べ会員数 315 人 ○自主ぐる～ぷ展 3 月 13 日～15 日 6 団体 ○ひまわり婦人学級 登録者数 25 人 ○常盤婦人学級 登録者数 28 人 ○家庭教育学級（三園母親学級） 参加者数 30 人			
【事業の成果と課題】 ・参加することに負担の少ない短期講座を多く企画し、多様な学習の場を提供できた。また、学んだことを展示し発表する場を設けて達成感を感じてもらうことで、受講者が学ぶことの楽しさを実感でき、学習を継続する意欲の向上に繋げることができた。 ・課題としては、指導者の人材が不足していることもあり、市民ニーズの高い講座の通年での計画的な開催が日程的に困難であること、また、地域づくりに結びつく学習講座について、特に若い世代が興味を示す講座内容を企画しにくい点がある。今年度の参加傾向をもとに講座内容や開催時期を年間で計画し、幅広い年齢層に参加してもらえ、地域づくりや文化芸術活動につながる講座を開催したい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	762, 000	577, 313	75. 8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

6. 中央公民館文化祭開催経費		評 価	B
【事業の概要】 公民館講座等の参加者や登録自主グループの生涯学習成果を発表する機会を提供し、市内の文化芸術団体の活性化を図るため、第34回中央公民館文化祭を開催する。なお、市内各種団体の協力により、市民文化祭としても開催する。			
【事業の実績】 ・平成27年11月14日（土）、15日（日）に瑞浪・土岐・明世地区の公民館活動推進委員の協力を得て開催した。 ・芸能発表関係29団体、作品展示関係19団体が参加した。市民図書館が「読み聞かせ」を公民館内で行ったほか、市内幼児園及び保育園の園児の作品を展示した。また、テントイベント「秋おいしい屋台」では、有志団体及び瑞浪・土岐・明世地区の活動推進委員が出店を担当した。さらに、中京学院大学中京短期大学部健康栄養学科の学生によるポトフの試食とゼミ研究に関する掲示物の展示を実施し、地域の学校との連携を図った。 ・全体参加者数795人、展示点数1,067点、入場者数1,111人。			
【事業の成果と課題】 ・幅広い年代の方に参加していただくことで、年代間の文化交流を図れた。また、例年から一新したデザインのチラシを対象3地区に回覧してイベントを積極的に周知した。 ・課題としては、関係地区のまちづくり組織との連携が弱く、地域への周知が不十分であることから、同時期に開催される市美術展と調整を図りつつ、できるだけ早い時期から企画と周知を行うことが必要である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	269,000	230,616	85.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

7. 美術展開催経費		評 価	A
【事業の概要】 第 62 回瑞浪市美術展（一般の部）を公募展として開催する。 日本画、洋画、書、彫塑、デザイン、陶芸、工芸、写真の 8 部門で開催する。			
【事業の実績】 ・ 第 62 回瑞浪市美術展（一般の部）を、平成 27 年 10 月 28 日（水）～11 月 1 日（日）の 5 日間で開催した。また、今回より、21 世紀を担う若者の豊かな才能を育てるため、高校生を対象とした「ききょう賞」を設けた。 ・ 出品数 252 点（うち賛助・無鑑査等 37 点）、入賞 62 点、展示作品数 235 点。入場者数 1,292 人。			
【事業の成果と課題】 ・ 出品数は 252 点で前年度から 24 点（10.53％）の増加となった。これまでの周知方法に加えて、市内外の高校の美術部や書道部等へ直接訪問し、「ききょう賞」の新設を周知して出品を促したことが増加に結びついた。入場者数は 1,292 人と 5.55％の減少となったが、引き続き幅広い世代に広報活動を行うことで、出品関係者以外の一般市民にも周知を図る。 ・ 28 年度は入場者の増加を図るため、広報の方法を改め、ポスターやチラシ等を作成し、館内外での催事で積極的に広報活動を実施する。また、更なる出品数の増加を図るため、美術展の出品に繋がる公民館講座等を開催する。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2,195,000	2,033,214	92.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

8. 文化芸術振興経費		評 価	A
【事業の概要】 市民の文化芸術活動の振興並びに文化芸術団体の育成を支援する。 瑞浪市文化協会が実施する各種文化振興事業に対し補助金を交付する。			
（事業の実績） ・ 瑞浪市文化協会による、文化協会祭開催事業（6 月 13 日、14 日）、姉妹都市の高浜市との文化交流振興事業、会員の功績を称える顕彰事業の 3 事業に対し補助金を交付した。 （文化協会加盟：38 団体、564 人）			
【事業の成果と課題】 ・ 市文化協会は、会員数や加盟団体が依然として減少傾向にあり、新規団体の加入の働きかけに取り組む中で、27 年度は 1 団体の加盟があったものの、加盟団体の総数は昨年度と変わっていない。継続して新規加入団体の獲得に取り組むよう促していく。 ・ 本年度の文化協会祭は、30 回記念として地区のお囃子保存会や子ども和太鼓教室等の招待団体が出演し盛大に開催され、一般の入場者は例年を大きく上回る 727 人となった。今後も、加入団体の育成や新たな企画の検討を促し、文化協会祭が盛大に開催されるよう協会の支援を行っていく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	628, 000	571, 326	91. 0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

9. 中央公民館自主事業		評 価	A
【事業の概要】 文化ホールでの公演事業を企画実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供する。平成27年度は、9月にフォレストコンサート、2月にコロッケコンサート、3月に子ども向け事業を計画している。 プロ、アマを問わず、地元で活躍している方や所縁のある方などを広く市民に紹介して行く事業として、ホワイエふれあいコンサートを開催する。			
【事業の実績】 フォレストコンサート in 瑞浪（763人）〔収容可能数786人〕 コロッケコンサート（734人）〔収容可能数768人〕 忍たま乱太郎キャラクターショー（305人）〔収容可能数786人〕 ホワイエふれあいコンサート 4回（550人）			
【事業の成果と課題】 ・市民が鑑賞を希望する公演事業も多種多様であることから、幅広いジャンルの中で希望数の多い舞台公演を開催することに努めた。 ・アンケート結果を踏まえて企画し、幅広い世代や市内外の文化団体等へPRしたことにより、4つの舞台公演中、3公演でチケットが完売し、非常に高い集客率となった。 ・ホワイエふれあいコンサートは、観客との距離が近く、暖かく雰囲気の良いコンサートとなることから毎回好評を得ることができた。公民館活動団体の発表の場とすることで公民館活動の活性化につなげるため、ホワイエでのミニコンサートなど、さらに気軽に参加できる催し物を検討していきたい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	13,759,000	12,401,931	90.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

10. 中央公民館市民参加型事業		評 価	A
【事業の概要】 市民が自ら参加し、芸術創造の場に触れることのできる事業を企画し開催する。平成27年度のニューイヤーコンサートは、交響楽団と合唱によるオリジナル作品を創作し、平成28年1月に開催する。			
【事業の実績】 ・1月24日（日）に『みずなみニューイヤーコンサート 2016 瑞浪オリジナル サウンド・オブ・ミュージック』を開催した。 ・参加者は、公募合唱団45人、公募劇団員24人、交響楽団53人（エキストラを含む）の他、指揮者、演出家、指導者など。また、衣裳ボランティア8人、スタッフボランティア2人の協力もあった。 ・チケット完売後も購入希望者からの問合せが多く、展示室にて50人収容可能なパブリックビューイングを行った。			
【事業の成果と課題】 ・世界中で不朽の名作として愛されるミュージカルをもとに、オーケストラの名曲を織り込み、昨年度の市制60周年記念事業以上の感動を目標とし、プロの演奏家と一般市民がともに舞台を作り上げ、瑞浪＝（イコール）ニューイヤーコンサートというイメージをさらに定着させた。 ・入場券は完売し、市内外の多くの方々にご来場いただいた。また、公演後のアンケートには（290枚回収）賞賛の声や次年度への期待、再演の意見が多く見られ、市外でも高い評価を受けていることが確認できた。 ・参加した合唱、演劇、演奏、演出、運営スタッフ等の方々が力を結集させて創り上げた舞台となり、完成度や市民の満足度は高いものとなった。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	3,990,000	3,446,261	86.4

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

【評価委員からの意見と対応】

「１． 瑞浪市主張大会開催事業」について

○高校生に司会進行を任せたが、今後も続けていくのか？

→高校生は、小中学生の見本となる良い手本となりました。今後も続けていきたいと考えております。

○一般の部の発表がなかったが、今後はどうするのか？

→社会人の方々の深い経験や、認識を主張していただきたいと願っております。例えば、青年の船で希少体験されたＪＣの方々に主張していただくよう依頼を考えております。

「３． 青少年育成推進事業」について

○充て職の問題は難しい。単年で切れてしまう。

→今後検討していく必要がある問題です。２、３年続けていただけるようなシステムを作ることも必要かと考えております。

「５． 中央公民館講座等開催経費」について

○幅広い年齢層の方に参加してもらうため、講師を登録制にして確保してはどうか。

→現状では、市内で講座を開催している他の施設があるため、講師の予定について押さえ合いになってしまうことがあります。また、要望の高い講座を開催しているため、参加者が集まったら開催される、いわゆるオープン講座は開催していません。これらのことから、現在は登録制を採用していません。今後、登録制を利用できる講座の企画運営方法について検討します。

○他の地区の公民館を利用できるようにならないか。

→「生涯学習ガイドブック」において、市内の６公民館講座の概要を紹介しています。また、市のホームページにおいて他館の情報がみられるようリンクを掲載していますので、市内全域の講座情報をご確認いただくことができます。

スポーツ文化課

方針①	歴史・文化に親しみ郷土愛を育む
重 点	○まちぐるみで守る文化財とその活用 ○歴史・文化・芸術に親しむ機会の提供 ○文化施設の充実 ○伝統文化後継者育成

方針②	一人一スポーツの推進
重 点	○スポーツ環境の充実 ○スポーツ体験の場の提供と情報発信 ○スポーツ推進委員の活用 ○体育協会・スポーツ少年団等との連携

主な事業の実績と評価

1. 文化財調査保存事業		評 価	A
【事業の概要】 市内に残る貴重な文化財の保護・啓発等のため調査を実施する。 本年度は、平成 26 年度に続き、櫻堂薬師及び関連寺社等の文化財調査として櫻堂薬師所蔵の古文書調査及び周辺地域の石造物調査を実施する。			
【事業の実績】 櫻堂薬師所蔵の古文書調査 205 冊 櫻堂薬師周辺の石造物調査実測 216 点			
【事業の成果と課題】 櫻堂薬師所蔵の古文書調査については、205 冊の古文書について年代・内容確認等を行った。今年度までの古文書調査の成果については、櫻堂薬師調査指導委員の上川教授（愛知県立大学）と協議を行った上で、平成 28 年度に刊行する桜堂遺跡の調査報告書に掲載を予定している。 また、文化庁調査官の指導により本年度から石造物調査に着手し、216 点の石造物の実測調査を行った。平成 28 年度は周辺地域に調査範囲を拡大し、平成 28 年度に刊行する報告書に掲載する。なお、平成 29 年度以降は、植物・地学分野の調査が想定されるが、具体的方針については櫻堂薬師調査指導委員会において協議する。 なお、本年度の古文書調査は秋季から冬季の計画であったが、指導委員との協議・調整の結果、調査日数・人員を減じて実施した。また、写真撮影等の作業を市職員で行ったことにより経費節減につながった。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	830, 000	233, 903	28. 2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 埋蔵文化財発掘等調査事業		評 価	A
【事業の概要】 遺跡範囲内での開発行為に伴う試掘・確認調査等を実施する。 桜堂遺跡出土品の整理、報告書の原稿作成等を行う（国庫補助事業）。			
【事業の実績】 試掘調査を3件（益見遺跡・中町遺跡・高屋遺跡）実施した。 桜堂遺跡発掘調査（第4次）を実施した。 桜堂遺跡出土品実測（170点）を行った。			
【事業の成果と課題】 桜堂遺跡の発掘調査については、報告書作成を予定していた。しかし、櫻堂薬師調査指導委員・文化庁調査官の指導を得る中で、「より詳細な建物の配置や変遷を明らかにすることが望ましい、また、平坦面の造成年代を明らかにする必要がある」等の指示があったため、第4次発掘調査を実施した。 平成28年度は文化庁・委員会等の指導を得ながら、出土品の整理を行い、調査報告書を作成する。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	4,044,000	3,371,817	83.4

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

3. 保存資料等刊行事業		評 価	A
【事業の概要】 市内各所に保存されている瑞浪の近代史を物語る役場記録等を収集し、保存・整理を行う。			
【事業の実績】 陶、日吉、釜戸、及び大湫コミュニティセンターが保存している古文書資料約200冊を収集し、整理を行った。 個人（2名）が所蔵している史料887点を収集し、整理を行った。			
【事業の成果と課題】 市内コミュニティ等で保管されている古文書資料（主に近代文書）の収集に努め、また2名の方から古文書資料（主に近世～近代文書）の寄付があったため、多くの貴重な資料を収集することができた。 収集した資料は化石博物館別館にて保存するが、点数が予想を上回るペースで増加しているため、台帳作成の方法等、適切な整理・保存方法を検討する必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,361,000	1,240,065	91.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

4.「岐阜県文楽・能大会 in 瑞浪」開催事業（新規）		評 価	A
【事業の概要】 岐阜県に残る伝統芸能「文楽・能」の公開・啓発を図るため、4市1町の輪番制で岐阜県文楽・能大会を開催する。 平成27年11月3日、総合文化センターで大会を開催する。			
【事業の実績】 平成27年11月3日（火、文化の日）、総合文化センターで「第20回岐阜県文楽・能大会みずなみ2015」を開催した。 半原操り人形浄瑠璃保存会ほか3団体が上演し、約750人の来場者があった。			
【事業の成果と課題】 岐阜県文楽・能大会は、保存会が所在する5自治体（4市1町）が持ち回りで開催しているが、今回は上演のみではなく、展示ブースを設けて各保存会の人形や文楽に関わる日本画等の展示を行い、来場者から高い評価を得ることができた（アンケート結果による）。 なお、次回開催は平成32年度の予定であり、今回寄せられた開催時間等の意見を参考としてより良い大会運営を目指したい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,000,000	799,522	80.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

5. こいのぼり祭事業		評 価	A
【事業の概要】 市民公園内文化施設の PR を行うため、親子で楽しめるイベントとして市民公園でこいのぼり祭を開催する。 瑞浪市民公園こいのぼり祭 2015 の開催。			
【事業の実績】 5 月 3 日～5 月 5 日の 3 日間、瑞浪市民公園こいのぼり祭 2015 を開催し、期間中文化施設を無料開放とし、延べ 11,000 人程度の入館者があった。 (来場者数は約 5,200 人)。 4 月 24 日 (金) ～5 月 12 日 (火) 公園内にこいのぼり 1 6 0 匹を掲揚した。			
【事業の成果と課題】 昨年度の課題として挙げた地域との連携については、オープニングイベントにおいて瑞陵ジュニアブラスによる演奏に加え、明世地区まちづくり推進協議会・みどり幼稚園による「願いを込めた風船飛ばし」ができたことで深めることができたものとする。 また、昨年度の課題として挙げた来場者の安全確保については、係員を増員して対応した結果、事故等は報告されなかった。 今後は、イベント委託業務内容についても再検討し、来館者・来場者の増加につながるよう努力したい。			
決算の状況	予算額 (円)	決算見込額 (円)	執行率 (%)
	2, 300, 000	2, 298, 240	100. 0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

6. 化石博物館定期研究報告発行业		評 価	A
【事業の概要】 化石を中心とした研究論文を掲載した研究報告を発行し、関連分野の研究に役立てる。 国内外の関連研究機関（国内 194、外国 105 機関）との図書交換を行い、図書資料の充実を図る。 平成 27 年度は、研究報告第 42 号（350 部）を発行する。			
【事業の実績】 研究報告第 42 号（320 部）を発行し、国内外の関係機関に交換雑誌として配布した。			
【事業の成果と課題】 研究成果を広く公開するため、市ホームページを通じ掲載論文の電子版を無料公開しているため、古生物学分野の学術情報発信に寄与するものとする。 本年度は、表紙イメージを一新するとともに、巻頭に掲載 10 論文の一般向けの要旨を掲載し分かり易いものとした。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	794, 000	750, 388	94. 5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

7. 化石博物館定期講座開催経費		評 価	A
【事業の概要】 化石をテーマとした講座等を開催し、身の回りの自然や自然科学の面白さを伝える。 平成 27 年度は、夏の化石教室（定員 30 人、4 日）、コハクアクセサリーを作ろう（定員 30 人、2 日）、恐竜の復元模型を作ろう！（定員 30 人、2 日）、小さな化石モンスターを探そう（定員 20 人、1 日）を開催する。 ボランティア主導の化石教室をのべ 18 日開催する（半日コース、定員 50 人；一日コース、定員 30 人）。 貸出用標本キットを製作する。			
【事業の実績】 夏の化石教室（99 人／4 日間）、コハクアクセサリーを作ろう（35 人／2 日間）、恐竜の模型を作ろう（92 人／2 日間）、小さな化石モンスターを探せ（15 人） みずなみ化石教室、延べ 18 日開催 半日コース（527 人／11 日間） 一日コース（178 人／7 日間） 貸出・出前講座用教材の製作			
【事業の成果と課題】 みずなみ化石教室の参加者数の急増により、実施に当たって安全性の確保や平等なサービスの提供ができたか、という昨年度の課題があった。それに対し、本年度は事前申込制の講座として開催し、半日コースは 50 人、一日コースは 30 人の定員を設けて実施した。その結果、全体参加者数は、昨年度 1,255 人の受講者が 705 人と減少したが、受講者に対し、平等なサービスが提供できたものと考え。しかし、化石教室の半日コースの定員については、受講者に対する今以上のサービス向上を目指して、平成 28 年度は 30 名の定員として実施することを検討している。 また、新たな試みとして、小中学校貸出・出前講座教材を製作し、瑞浪中学校 1 校で出前講座を行った（1 年生 6 クラスで実施）。今後は市内小中学校と調整して活用方法を検討していく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	964,000	727,612	75.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

8. 化石博物館定期展示会開催事業		評 価	A
【事業の概要】 化石をテーマとした展示会を開催し、身の回りの自然や自然科学の面白さを伝える。 平成 27 年度は、第 79 回特別展「アンモナイト・オウムガイ」を開催する。			
【事業の実績】 第 79 回特別展「アンモナイト・オウムガイ」 ・会 期 7 月 22 日（水）～11 月 29 日（日） ・入館者 14,308 人			
【事業の成果と課題】 昨年度までは、別館展示室で特別展を開催していたが、本年度は、改装したレクチャールームを利用して特別展を開催した。展示標本は少なくなったが、来館者が別棟に移動することなく、同じ館内で展示を見ることができるのでサービスの向上につながったと考える。 また、限られたスペースでの展示と解説になるため、スマートフォン用に Q R コードを利用した展示解説も試みた。 次年度は、企画展を含め年 2 回開催とし、来館者のサービス向上を目指す。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	502, 000	501, 234	99. 9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

9. 化石資料調査収集事業		評 価	A
【事業の概要】 日本各地の化石資料等を収集し、展示・研究に活用する。 平成 27 年度は、鹿児島県 こしきじま 甑 島 町、長崎県長崎市、岡山県 しょうおう 勝 央 町の中生代～新生代カ ニ・貝化石の調査を行う。			
【事業の実績】 鹿児島県種子島（5 月 12 日～5 月 15 日）：新生代の貝類・十脚類化石の調査・収集 北海道 はぼろ 羽幌町（9 月 14 日～9 月 17 日）：中生代・新生代の貝類・十脚類化石の調査・ 収集			
【事業の成果と課題】 当初計画の鹿児島県甑島町、長崎県長崎市、及び岡山県勝央町の調査は、受入側の諸事 情（調査地の状態の悪化）により、調査地を変更して実施した。 種子島の調査では、オキナワアナジャコの追加標本を得ることができ、本資料を含め昨 年度の岡山県と種子島のオキナワアナジャコの研究成果は、日本古生物学会年会で発表す るとともに、新聞・ニュース等で取り上げられ、館の研究成果を広く紹介することが可能 となった。正式な新種記載論文は間もなく学術雑誌に掲載される予定である。 北海道の調査で得られたアンモナイトは、特別展開催期間中に展示物の入れ替えを行っ て特別展で活用した。 また、26 年度から続く種子島の調査では、新たに多数のカニ化石を採集することが出 来たので、継続して研究を進めていく。なお、成果の一部は、日本古生物学会例会で発表 した。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	238, 000	194, 506	81. 8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

10. 化石博物館システム改修事業（新規）		評 価	A
【事業の概要】 来館者が快適に博物館展示室内の情報提供システムを利用できるように情報提供システムを改修する。			
【事業の実績】 展示室内常設のパーソナルコンピュータ及びプログラム（2基）の改修を行った（3月27日公開）。			
【事業の成果と課題】 展示室内で来館者が利用している常設パーソナルコンピュータ及びプログラムの改修を行った。プログラムに関しては、大幅に内容を見直し、三択クイズプログラムおよび化石発掘ゲームの2本構成とし、来館者が遊びながら、化石のでき方や瑞浪の特徴的な化石について学習できるものとした。 今後は、5年を目安としてパーソナルコンピュータ及びプログラムの見直しを行い時代に即したものとしていく必要性がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2,476,000	2,457,280	99.3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

11. 市之瀬廣太記念美術館彫刻講座等開催経費		評 価	B
【事業の概要】 美術・美術館への関心を高めるため、講座を開催する。 平成27年度は、土人形づくり（定員20名、2コース）を開催する。			
【事業の実績】 土人形づくり：11名			
【事業の成果と課題】 本年度は、土人形づくりの講座を開催し11名の参加者があった。 今後は、土人形づくりの講座を継続するとともに、親子あるいは子どもを対象とした造形体験講座の実施に向けて検討していきたい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	93,000	92,780	99.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

12. 市之瀬廣太記念美術館作品保存事業		評 価	A
【事業の概要】 市之瀬廣太氏制作の石膏・樹脂作品の恒久的保存のためブロンズ化を行う。 平成 27 年度は石膏作品 10 点のブロンズ化を行う。			
【事業の実績】 石膏作品 10 点（門、風神、少女、傷ついた鳩、流れに想う、寒空、待ちぼうけ、街角、二人、自然のめぐみ）のブロンズ化を実施した。			
【事業の成果と課題】 美術館が収蔵する 290 作品の内、176 作品のブロンズ化が完了した。 今後は、ブロンズ化を行った作品を随時常設展において展示するとともに、安全性等を考慮した上で学校への作品貸出し展示等を検討していく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	982, 000	928, 800	94. 6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

13. 陶磁資料館作陶講座開催経費		評 価	A
【事業の概要】 陶芸や焼き物に触れる機会を提供し、また関心を高めるために体験教室を開催する。 平成 27 年度は、外部講師による教室を継続（7 回）しながら内部講師による教室（4 回）を充実する。 定員制（20 名）：「五月人形づくり」、「ご飯茶碗づくり」「やきもの風鈴絵付け」、「蓋物づくり」、「来年の干支づくり「申」」、「あじさい雛づくり」、「ランチプレートづくり」、「勾玉づくり」（2 回） 定員無：「陶の匠茶会」、「マグカップ・プチオカリナ絵付け」（2 回） また、新たに事前予約制の絵付け体験教室（内部講師）を開催する。			
【事業の実績】 11 回の作陶・絵付け教室等を開催した（括弧内は受講者数）。 陶の匠茶会（27 人）、五月人形づくり（15 人）、ご飯茶碗づくり（6 人）、やきもの風鈴絵付け（3 人）、蓋物づくり（5 人）、勾玉づくり（3 人）、来年の干支づくり（14 人）、あじさい雛づくり（7 人）、ランチプレートづくり（4 人）、マグカップ・プチオカリナ絵付け体験（174 人／2 回〔6 日〕） 事前予約制の絵付け教室に対し 2 件の申し込みがあった。 プチオカリナ絵付け体験（32 人／2 回）			
【事業の成果と課題】 作陶・絵付け体験の総受講者数は、前年の 231 人から 289 人と 58 人増加し、事前予約制の絵付け教室を開始した成果が表れたものと考ええる。 今後も市の広報やホームページ等で情報提供に努めるとともに、要望があれば出前教室の開催についても検討していく。なお、28 年度は資料館の改修工事が予定されているが、概ね例年通り体験教室を開催する予定である。平成 27 年度以降はダイレクトメールの送付、学校への情報提供等を検討していく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	605,000	529,795	87.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

1 4 . 陶磁資料館定期展示会開催事業		評 価	A															
【事業の概要】 当市の伝統・地場産業である陶磁器生産・窯業史等に関連する展示会を開催し、郷土の歴史・文化等に対する関心を高める。 平成 27 年度は 5 回の企画展を開催する。																		
【事業の実績】 <table><tr><td>瑞浪陶芸協会展　そこからの一歩</td><td>4 月　5 日～　5 月　6 日</td><td>2,277 人</td></tr><tr><td>美濃の染付　近代陶工の妙技</td><td>5 月 24 日～　8 月 30 日</td><td>1,109 人</td></tr><tr><td>Good Design in MIZUNAMI</td><td>9 月 20 日～ 11 月　3 日</td><td>614 人</td></tr><tr><td>独国・仏国のやきもの</td><td>11 月 15 日～　2 月 14 日</td><td>718 人</td></tr><tr><td>瑞浪市陶磁資料館　友の会作品展</td><td>2 月 21 日～　3 月 21 日</td><td>216 人</td></tr></table>				瑞浪陶芸協会展　そこからの一歩	4 月　5 日～　5 月　6 日	2,277 人	美濃の染付　近代陶工の妙技	5 月 24 日～　8 月 30 日	1,109 人	Good Design in MIZUNAMI	9 月 20 日～ 11 月　3 日	614 人	独国・仏国のやきもの	11 月 15 日～　2 月 14 日	718 人	瑞浪市陶磁資料館　友の会作品展	2 月 21 日～　3 月 21 日	216 人
瑞浪陶芸協会展　そこからの一歩	4 月　5 日～　5 月　6 日	2,277 人																
美濃の染付　近代陶工の妙技	5 月 24 日～　8 月 30 日	1,109 人																
Good Design in MIZUNAMI	9 月 20 日～ 11 月　3 日	614 人																
独国・仏国のやきもの	11 月 15 日～　2 月 14 日	718 人																
瑞浪市陶磁資料館　友の会作品展	2 月 21 日～　3 月 21 日	216 人																
【事業の成果と課題】 本年度は、5 回の企画展を開催し、期間中 4,934 人の入館者があった。 また、本年度、所蔵品が「美濃の陶磁器生産用具および製品」として国の登録有形民俗文化財に登録されたため、その内容を伝える企画展「型紙摺絵と銅版転写」を開催して文化財登録を PR するとともに、入館者が増加するようマスコミ等への情報提供に努めたい。																		
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）															
	1, 221, 000	1, 067, 517	87. 5															

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

15. 陶磁資料館定期刊行物発行経費		評 価	A
【事業の概要】 陶磁器・窯業史等に係る調査・研究成果等を掲載した研究紀要（隔年）を刊行する。 瑞浪市の歴史・民俗・文化財等を紹介する歴史資料集（隔年）を刊行する。 資料館事業報告・公開のため年報（隔年）を発行する。 平成27年度は、研究紀要 第16号と年報 第34号を刊行する。			
【事業の実績】 研究紀要 第16号（300部）と年報 第34号（200部）を刊行した。			
【事業の成果と課題】 刊行した2冊は、国内の関係機関に交換図書として送付した。 今後も研究紀要・歴史資料集の刊行は継続するが、専門委員の高齢化に伴い論考を執筆する方が減少しているため、専門委員の交代を検討する必要がある。 また、今後は、一般の方にも掲載内容が一目で分かるように、掲載論文の要約を掲載していきたい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	984,000	510,327	51.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

16. 陶磁資料館展示資料等購入整理事業		評 価	A
【事業の概要】 収蔵資料等を適切、かつ効率的に管理・公開するため、データベースの充実を図り、市ホームページを通じて収蔵品を紹介する。また、展示資料・研究資料等として活用するための図書等を購入する。 平成27年度は、データベース（約7,000件）の追加入力を行い、紙台帳のデータベース化を完了する。			
【事業の実績】 収蔵資料データベースシステムを閲覧しやすいように改修し、6,766件のデータを追加して紙台帳のデータベース化を完了した。 また、市内の古墳から出土した金属製品（1点）の保存処理を実施した。			
【事業の成果と課題】 収蔵品のデータベース化は完了したが、館蔵品が「美濃の陶磁器生産用具および製品」として国の登録有形民俗文化財に登録されたため、陶磁器生産用具のデータベース化・公開について検討する必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	4,758,000	4,503,773	94.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

17. 陶磁資料館展示室改修事業（新規）		評 価	A
【事業の概要】 平成 28 年度に国重要無形文化財保持者（人間国宝）、瑞浪市名誉市民である加藤孝造氏の作品の常設展示を行うため、平成 27 年度中に展示室改修工事の実施設計を行う。			
【事業の実績】 展示室改修工事の実施設計を行った。			
【事業の成果と課題】 平成 28 年度に展示室改修工事を行うため、実施設計業務を委託し実施設計が完了した。 平成 28 年 6 月～7 月に改修工事に着手し、工事完了後には寄贈作品を展示・公開する特別展「(仮称) 作品寄贈記念加藤孝造作品展」を開催する。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,200,000	1,058,400	88.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

18. スポーツ教室等開催経費		評 価	A
【事業の概要】 市民が気軽に参加できるスポーツ環境づくりを図り、体力増強や健康維持につながる生涯スポーツの普及に努めるためスポーツ教室を開催する。 平成 27 年度は、水泳教室、フットサル教室、バドミントン教室、体幹トレーニング教室、ノルディックウォーキング教室を開催する。			
【事業の実績】 弓道教室（1 教室、定員 15 名、参加 10 人：9 回開催） バドミントン教室（1 教室、定員 30 名、参加 25 人：6 回開催） フットサル教室（1 教室、定員 20 名、参加 10 人：4 回開催） 水泳教室（1 教室、定員無、参加 129 人：10 回開催） スナッグゴルフ体験教室（2 教室、定員無、参加 36 人：2 回開催） ノルディックウォーク教室（1 教室、定員 30 名、参加 7 人：1 回開催）			
【事業の成果と課題】 本年度は、当初予定していた体幹トレーニング教室に代わり、フットサル教室、スナッグゴルフ体験教室を加え開催した。新たな競技を体験することで本種目の普及を図る糸口ができたものと考えている。 今後も、開催種目や参加の方法（例えば、一つの種目だけではなく、複数の競技を体験する教室等）を検討し、生涯スポーツ人口の拡大を図りたい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	871,000	662,463	76.1

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

19. トップアスリート交流事業		評価	A
【事業の概要】 子どもたちと一流のスポーツ競技者との交流を図るためのスポーツ教室、講演等の交流事業を年1回開催する。 平成27年度は、剣道教室を開催する。			
【事業の実績】 剣道「講演会・模範演技&交流教室」 2月27日（土） 約200名			
【事業の成果と課題】 剣道については、市剣道連盟を始めとして愛好者も多く、小中高等学校を通して、特に高校に於いては麗澤瑞浪高等学校女子剣道部の全国制覇等、輝かしい歴史がある。そのため、本事業の講師として剣道世界一に輝いた教士7段の寺本将司氏(大阪府警)を招き、講演及び剣道体験教室を開催し、ジュニア世代の剣道の振興並びに中学校の武道必修化に資することを目的として開催した。 課題としては、本事業の効果がただちに、かつ具体的には認められないことにある。また、種目の選定についても、長期計画を立ててトップアスリート（メダリスト等）の選定を行うこと、開催時期の調整を行うこと、及び市内スポーツ競技団体等との協力体制に留意すること等も課題として挙げられる。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,035,000	589,486	57.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

【評価委員からの意見と対応】 「2. 埋蔵文化財発掘等調査事業」について ○桜堂遺跡の発掘調査の出土品について →出土品は、生活用品が主たるもので、金銭的に評価することができないが、中世において桜堂には高位の僧が定住していたことが窺える。 「5. こいのぼり祭事業」について ○こいのぼり祭開催事業の評価を上げた理由について →昨年度の課題として挙げた、地域との連携事業として明世地区まちづくり推進協議会とみどり幼稚園と連携したオープニングイベント「願いをこめた風船飛ばし」を実施できたことにより、評価をA評価とした。 「11. 市之瀬廣太記念美術館彫刻講座等開催経費」について ○彫刻講座の対象者について →過去の彫刻講座では、受講者年齢層が均一ではなかったが、最近の土人形づくりでは受講者の年齢層は安定するようになった。児童・生徒の参加が可能な講座を実施したい。

学校給食センター

方 針	安全で、栄養バランスのとれた、おいしい給食の提供
重 点	○衛生管理の徹底 ○給食の安定的な供給 ○施設・設備の整備 ○安心で、美味しい給食の提供 ○食に関する指導の充実

主な事業の実績と評価

1. 学校給食調理等委託事業（新規）		評 価	B
【事業の概要】 学校給食 3,200 食の調理・食器洗浄業務を民間業者に委託し、安心・安全な給食を提供する。			
【事業の実績】 契 約 先：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 契約期間：平成 26 年 11 月 28 日から平成 30 年 3 月 31 日まで 履行期間：平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで （契約日から平成 27 年 3 月 31 日までは準備期間） 対象施設数：小学校 7 校、中学校 6 校 1 学期 70 日・2 学期 79 日・3 学期 53 日間の給食を提供した。 1 月 14 日の水道管破裂により翌日の給食は簡易給食となった。			
【事業の成果と課題】 4 月から調理業務等を委託したことにより、品質や味が落ちることを懸念していたが、学校（児童・生徒アンケート等）からは味について上々との評価をいただいた。 調理員が慣れていないことや昨年に比べ少人数での対応となったが、一度も時間に遅れることなく給食を提供することができた。衛生管理については、大きなトラブルの発生はなかった。 今後も一層、受託者へ適正な人員の確保と衛生面の周知徹底を指導していく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	56,986,000	56,985,120	100.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 学校給食配送委託事業		評 価	A
【事業の概要】 学校給食を市内の小中学校に限られた時間内に確実に配送するため、配送業務を民間の専門事業者へ委託する。 車両経費・運行費・人件費・一般管理費・配送雑費等			
【事業の実績】 市内の小中学校へ給食の配送業務を実施した。 契 約 先：東海西濃運輸株式会社 岐阜東濃支店 契約期間：平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日（5 年間）まで 配送施設数：小学校 7 校、中学校 6 校 配送車両：4 台			
【事業の成果と課題】 市内の小・中学校への給食の配送は、仕様書に沿った方法により委託業者への指示を徹底した結果、安全・確実に実施することができた。 また、学校行事に合わせた時間（通常より早い時間）の配送にも対応ができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	16,984,000	16,983,000	100.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

3. 学校給食施設等整備事業		評 価	A
【事業の概要】 高温多湿な洗浄室並びにコンテナプール室に空調設備を増設する。			
【事業の実績】 洗浄室等の空調設備にかかる設計業務を委託し、実施設計が完了した。 （平成 26 年度繰越事業：繰越額 2, 6 6 7, 6 0 0 円） 契 約 先：大建設計株式会社 工事については、9 月議会に補正予算（継続費）9 3, 0 0 0 千円を計上し、2 月に工事請負契約を締結した。 継続費 年割額 平成 27 年度 3 7, 2 0 0 千円 平成 28 年度 5 5, 8 0 0 千円 請負金額：8 3, 1 6 0 千円（平成 27 年度前払金 3 3, 2 6 0 千円） 契 約 先：大東株式会社 契約期間：平成 28 年 2 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで			
【事業の成果と課題】 工事は平成 28 年度中であるが空調機器については受注生産のため、平成 27 年度中に発注する必要があった。 施設内での工事は小中学校の夏季休業期間中に施工する必要があるため、工期や工程の確認が必要である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	39,868,000	35,927,600	90.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

【評価委員からの意見と対応】
特になし

Ⅳ. 教育委員会点検評価委員会のまとめ

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項、瑞浪市教育委員会点検評価実施要領第2条第2項の規定により、教育委員会点検評価委員会を開催し、教育委員会の6部署から提出された56事業について、3回に亘って審査を行いました。

点検・評価にあたっては、各種事業の方針と重点を示した上で、評価シートを基に事業担当課からのヒアリングを通して、教育委員会の事務の管理及び執行の状況を詳細に知ることができました。また、6名の評価委員が、それぞれの立場・見識で質疑できたことは、この検証・評価をより確かなものにすることができたと考えます。

平成27年度に行われた教育委員会の事務事業は、前年度の「点検・評価」を踏まえ、的確な検証・自己評価を基に、適切に計画・実施され、全体的には一定以上の成果を得たものと考えます。

しかし、相対的に教育委員会の事業は、数値的に評価判断することが困難なものが多いため、「A」と評価された事業もより一層、児童・生徒、市民の満足度を意識するなかで事業に取り組んでいただきたい。

今後も、財政状況の厳しい中ではありますが、各事業における一層のコスト削減と、効率的な事務の執行に努められるようお願いします。

また、今回の点検評価委員会の意見や事業担当課の自己評価の反省が、今後、計画される事業に反映されるとともに、点検評価報告書が教育委員会事務事業の透明性を図り、瑞浪市の教育の更なる進展につながるものとなることを願います。

平成28年7月

瑞浪市教育委員会点検評価委員会

瑞浪市教育委員会点検評価委員（敬称略）

任期 28.4.1～30.3.31（2年）

役職名	氏 名	備 考
委員長	あつみまさのり 厚見正紀	元瑞浪市教育振興基本計画策定委員会委員長
委 員	いとうかよこ 伊藤加代子	元瑞浪市教育委員
委 員	もりもとゆきまさ 森本幸正	瑞浪市社会教育委員
委 員	あんどうまこと 安藤誠	瑞陵中学校評議員
委 員	おぐりめぐみ 小栗恵	瑞浪市PTA連合会母親委員
委 員	さんこりのりかず 三戸憲和	瑞浪市文化財審議会委員

点検評価委員会開催回数（3回）

回	開 催 日	会 場
1	平成28年6月22日（水）	瑞浪市役所4階会議室
2	平成28年6月24日（金）	瑞浪市役所4階会議室
3	平成28年7月22日（金）	瑞浪市役所全員協議会室